

ある。

賛成

活断層の問題、市民の生命・財産の確保、プルトニウムという非常に危険な燃料の問題等から、もんじゅの廃炉を求め本請願に賛成である。

採決

不採択とすべきものと決定

『賛成少数』

その他の決定事項

敦賀発電所破砕帯調査現場への視察について、全会一致で委員派遣を決定しました。

敦賀駅周辺整備調査 特別委員会

「駅前広場整備計画」について理事者より説明を受け、その後、委員間討議を行いました。

理事者より

説明

委員からの「駅前には緑が少ない。緑が必要ではないか。」との意見を踏まえ、太陽光発電パネル周辺を緑化することにした。

説明

蓄電池を2基設置した場合、駅前広場のすべての照明を太陽光発電により点灯させることが可能となる。また、電力会社からの電力供給途絶時にも緊急時電源として活用可能である。

説明

駅前広場への植樹の種類や本数等については、地元と意見交換会を開催し結論を出した。



委員より

意見

これまでの課題は概ね解決されている。駅前広場整備計画についてはこれでよかった。

敦賀市公立大学設置 特別委員会

「大学設置認可申請に係る手続き」、「大学設置認可申請に係る基本計画書」、「入学者選抜制度」の3点について、11月22日に開催された第4回敦賀市公立大学設置委員会の資料に基づき理事者からの説明を受けました。主な質疑は次のとおりです。

質疑

問

改修工事について、国などとの協議の結果、当初予定していた内容から変更が生じたということだが、予算的に大丈夫なのか。

答

改築費は増額傾向にある。精査が終わっていないが、経費全体の中で調整していきたい。

問

教員確保について、現短期大学から一般教養分野で採用予定の教員はいるのか。

答

なるべく短期大学からの採用を考えたが、文部科学省の審査における論文の数などから教授の要件を満たす方がいないので他からの採用を考えている。

問

校舎について、設置基準上は面積的に余裕があると思うが、現在の短期大学の施設規模か、生徒数か、どちらに合わせて改築を行うのか。

また、地域・在宅ケア研究センターの場所が当初計画から移動した理由と、そこでの研究内容についてはどうなっているか。

答

設置基準上では大学設置可能であるが、実際に現在の短期大学で看護大学を運営するには多くの実習室が必要であるなどの理由から手狭である。

また、地域・在宅ケア研究センターでは在宅看護について研究を行う。当初の計画の配置では経費がかかりすぎることや、将来は訪問看護ステーションの併設を考えているため変更した。

問

推薦入試について、初年度は12月の予定だがその後はどうするのか。



答

ほとんどの大学で11月に行っている行っているので、11月に行くことになると思う。

問

助産科を設置する方向性があるのなら、設置による効果や運営経費の概算を示してほしい。

答

助産学は大学としての一つの特徴であり、またニーズも大きい。次の委員会で検討材料として資料が提出できるよう準備したい。

一般質問

12月11日、12日、13日の3日間、15人の議員が一般質問を行いました。下記の質問項目のうち、1人1項目（太字部分）について要約し、9～12ページに掲載しています。

一般質問 項目一覧

- ◎立石 武志 君
 - 1 福祉手当支給について
 - 2 市立敦賀病院について
- ◎前川 和治 君
 - 1 公共施設の現状と今後について
- ◎上原 修一 君
 - 1 原発問題について
 - 2 企業誘致と産業団地について
 - 3 公共施設の安全対策について
- ◎馬淵 清和 君
 - 1 市立敦賀病院の現状と課題、そして市立看護大学新設について
 - 2 防災について
 - 3 北陸新幹線について
- ◎力野 豊 君
 - 1 住宅リフォーム支援事業について
 - (1) 緊急経済対策として事業化
 - (2) 介護保険利用のバリアフリー
- ◎北條 正 君
 - 1 原子力発電所の長期停止と財政運営について
- ◎林 正男 君
 - 1 アクアトムの今後について
 - 2 除雪における県との連携体制について
 - 3 インフラ整備について
 - 4 空き家対策について
 - 5 みなとオアシス賑わい創出事業について
 - 6 水戸烈士遺徳顕彰について
- ◎山本 貴美子 君
 - 1 子どもの医療費助成の拡充について
 - 2 ひとり暮らし高齢者の住宅政策について
 - 3 バイオマスタウン構想について
- ◎北村 伸治 君
 - 1 北陸新幹線の坂下車両基地について
 - 2 敦賀市の耕作放棄地の現状とその対策について
- ◎高野 新一 君
 - 1 通学路の安全確保について
- ◎田中和 義 君
 - 1 防災計画について
 - 2 原子力政策について
 - 3 下水道事業について
- ◎福谷 正人 君
 - 1 博物館通り賑わい創出プロジェクトについて
 - 2 中心市街地の活性化について
 - 3 教育フェアについて
- ◎岡 武彦 君
 - 1 県道五幡新保停車場線の改良工事について
- ◎今大地 晴美 君
 - 1 北陸新幹線について
 - 2 活断層について
- ◎原 幸雄 君
 - 1 市立敦賀病院の安定的運営について

子育て・福祉

福祉手当支給について

立石 武志

問

現役世代の人口が減り続ける現在、生活保護受給者が増え続け、社会の活力は失われ社会保障の地盤沈下が加速している。自力で生活できる社会を目指すことが当然と考え、各種市社会福祉手当支給について見直す時期では。

答

寡婦手当支給が始まり30年以上経過しているため、見直しの時期が来ていると感じている。母子、父子、寡婦を問わず、そういう皆さん方が自立して頑張れる社会を目指し支援を行っていく。

子どもの医療費助成の拡充について

山本 貴美子

問

子どもの医療費が、小学校卒業まで一部負担のみの助成であるのは敦賀市だけである。他の自治体では小・中学校卒業まで医療費無料もしくは一部負担のみであ

る。敦賀市も早急に中学校卒業まで
窓口での無料化を実施すべきではな
いか。

答

現在、全事業の見直しを
行っており、その中で平成26
年10月には医療費の助成を中学校修
了までに拡充する予定であり、でき
るだけ早く検討をしながら進めてい
きたい。窓口での無料化についても
検討はさせていただく。

防災・安全

公共施設の現状と今後につ いて

前川 和 治

問 子どもたちが通う小中学校
のほとんどが築30年以上を経
過しており、今後建物の更新が必要
となる。壊れたら直せばよいとい
う行き当たりばったりな考えではな
く、建物の耐用年数を予測し、将来
の更新時期や改修予算を試算すべ
きだ。

答

何十年も経過した場合を考
えると、情勢や建物の改修工

法等も変化していることが予測され
試算するのは難しい。10年先ぐら
いまでの改修や改善については、総合
計画の実施計画の中に組み込み、き
ちんと計画づくりを行っている。

防災について

馬 淵 清 和

問 敦賀市で原子力発電所の事
故や地震などの災害が発生し
た場合、自力で避難できない生活弱
者や入院患者の対応、また、市内の
公共施設で老朽化した建物道路、橋
梁の点検等はどのように実施されて
いるのか。

答

福島の見聞から、自治体が
個々で行っても効果がないの
で広域的に行いたいと考える。その
場合には、国が調整をしながら避難
所を決めてもらい、それが決まれば
敦賀市はその市町村と協議しながら
協定を結んでいきたい。

通学路の安全確保について

高 野 新 一

問

市内の通学路の安全点検と
危険箇所の数およびそれに対

する対策対応はどのようになってい
るか。

答

5月に各学校ごとの調査を
行った結果、早急に対応すべ
き箇所が52、そのうち、学校が対応
すべき箇所が17、道路管理者が対応
すべき箇所が17、警察に対応しても
らいたい箇所が5、その他関係各機
関で取り組むべき箇所が13であっ
た。

安全対策として、各学校での安全
教育や安全マップの作成、グリーン
ベルトやソフトポールの設置、車両
の通行規制などの措置を行ってお
り、今後も積極的に通学路の安全確
保に取り組んでいくつもりである。



原子力

原発問題について

上 原 修 一

問

原子力規制委員会は日本原
電の直下をはしっている破砕

帯が浦底断層と連動する可能性が大
きいと指摘している。国の耐震審査
指針では、活断層の上に原子炉建屋
など重要施設を建てることを認めて
いないが、見解は。

答

仮に建設前に活断層である
と分かっていたら、重要施設
は建てられなかったと思う。今に
なつて破砕帯であったものが活断層
で、連動性があると言われるよう
になったことについて疑問であり、今
後規制委員会としてどのように判断
するか、科学的根拠に基づいて説明
をしていただきたい。

原子力発電所の長期停止と財 政運営について

北 條 正

問 原子力規制委員会の調査団
が敦賀発電所敷地内の破砕帯
を活断層と結論付けたことにつ
いて、地元にとっては死活問題である。
敦賀の将来を左右するといつても過
言ではない。市長はどのように受け
止めるか。

答

立地地域への説明は不足し
ている。追加調査を終えな

ればわからないところもあるのに、なぜ活断層であると結論を急ぐのか疑問だ。規制委員会に対して海外などの第三者の意見を仰いだり、市民説明会の開催を求めたい。

原子力政策について

田中和義

問 原子力発電所は、長期停止が続く、本格点検が行われずに13カ月以上が経っている。地域住民の安心・安全の確保と信頼維持のために、本来どおり13カ月ごとの定期検査を確実に行うことが必要と考えるが市長の見解は。

答 原子力発電所は運転中であつても停止中であつても安全をしっかりと確認していくことは大事である。長期停止中であつても保全計画をしっかりと立てて、それぞれの機器の安全確認を行っていくことは非常に重要だと考える。



住宅

住宅リフォーム支援事業について

力野 豊

問 市内の経済状況は、昨年来、原子力関連の雇用縮小による影響で、自治体の中でも特に冷え込んでいる。市独自の緊急経済対策として住宅リフォーム支援事業は効果が期待でき、消費増税を控えた今、事業化できないか。

答 住宅リフォームを行うとする場合、その内容や縛り、福祉リフォームとの整合性の問題があると思われる。また経済対策として行うならば、期間限定という形になるだろう。関係各部の政策幹会議で少し検討してみる価値はあると考える。

空き家対策について

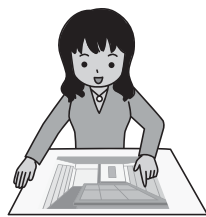
林 正男

問 全国の空き家は757万戸、1963年以降一貫して上昇を続けている。県内の空き家は

約4万6700戸で、この25年間で2倍以上になった。空き家が増えるのは人口減少や家族構成の変化に加え、解体費用がかかること、税制など様々な要因があるが、敦賀市の空き家対策を問う。

答 現在、庁内の政策検討会議において、福井空き家情報バンクの活用、不動産協会による無料相談のPR、条例化等について検討を行っている。

また、市民からの相談に対応できる体制づくりを目指し、空き家対策連絡会議（仮称）の立ち上げの準備をしている。



農業

敦賀市の耕作放棄地の現状とその対策について

北村 伸治

問 農業を取り巻く環境は、TPPなどの問題もあつて非常

に厳しく、農業者の高齢化が進むとともに先祖からの農地を守る後継者も減少し耕作放棄地が増えているが、その現状と対策について伺う。

答 耕作放棄地は敦賀市全体で約81ヘクタールある。解消策としては、農地の円滑な貸し借りを支援する国の補助制度を広報して耕作放棄地の解消につなげたり、害虫の発生や有害鳥獣など周辺への影響を防ぐため、農業委員会から所有者に対して定期的に草刈り等の指導をお願いしようと考えている。

まちづくり

博物館通り賑わい創出プロジェクトについて

福谷 正人

問 町家を再生、改修しテナントミックスの施設をつくり、そこに特色のあるテナントが入りさえすれば人が来るとは思えない。博物館通りへ来なければならぬ必然性や、人を呼び込む仕掛け、仕組みづくりというところは考えているのか。

答

気比神宮に来る60万人のお客様に金ヶ崎緑地から博物館へと回遊していただくとうと、金ヶ崎周辺整備構想を作成し徐々に環境整備を行っていく予定である。また、3軒の町家は平成25年の10月には整備できるので、十分にPRしていけば回遊性は保たれると考えている。



交通

県道五幡新保停車場線の改良工事について

岡 武彦

問

県道五幡新保線は、東浦地区住民にとって原子力防災対策、一般防災対策を考えると、避難道路としてなくてはならない道路である。県に対して、1日も早く完成してもらえよう、市からきつく要望していただきたい。また、完成

日はいつになるか。

答

道路幅員7メートルで計画が完成しており、交通不能区間については未だ具体的なルートや幅員については未定である。また、この道路が完成されれば避難ルートとしての選択肢がふえることになるため、防災上の観点からも有効な道路であると考えている。

北陸新幹線について

今大地 晴美

問

新幹線のトンネル掘削によって、中池見湿地に影響が及んだ場合、ラムサール条約登録地の認定を受け「未来永劫湿地を守る」と宣言した敦賀市の市長としての責任を、どのように考えているのか。

答

敦賀市にとっては、中池見も新幹線も重要である。共存共栄を図れるようにしていくつもりである。

もし影響が出た場合は、鉄道運輸機構に対応、対策を講じるよう申し立て、その時々で対応を行っていくしかないと考えている。

病院

市立敦賀病院の安定的運営について

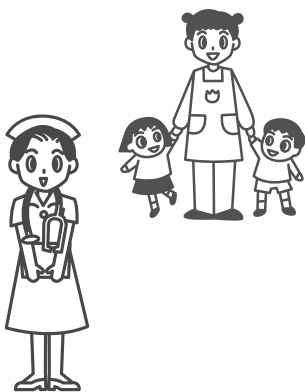
原 幸雄

問

市立敦賀病院の安定経営には、看護師、医師の確保が欠かせない状況の中で、緊急対応として看護師の福利厚生充実が必要と考えるが見解は。

答

他の職場との比較も行いながら、過酷な労働であるため3交代の導入等、何ができるかしっかり検討し、ふさわしい福利厚生を考えたい。院内でお子さんを預かるシステムも開始され、今後よりよい環境の中で働いていただけるように努力していきたい。



請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみならずが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

*該当要件

- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・公益性を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

【書式例】

年 月 日
請願（陳情）書
敦賀市議会議長 殿
紹介議員（請願のみ）
住所 ……………
氏名 ……………
……………について
請願（陳情）趣旨
……………
請願（陳情）事項
1 ……………
2 ……………

審議結果一覧

平成24年第5回定例会では、平成24年度各会計補正予算案8件、条例案4件、一般・人事議案8件、報告議案2件、議会提出議案4件、請願3件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成24年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀市介護保険（保険事業勘定の部及びサービス事業勘定の部）特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成24年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
平成24年度敦賀市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例制定の件	産経建設	可決
敦賀市住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止の件	総務民生	可決
敦賀市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正の件	—	可決

議会提出議案

件名	結果
敦賀市議会会議規則の一部改正の件	可決
敦賀市議会委員会条例の一部改正の件	可決
「原子力発電所敷地内破砕帯調査に関する説明を求める意見書」提出の件	可決
敦賀市農業委員会委員の推薦の件	可決

3 一般・人事議案

件名	付託委員会	結果
指定管理者の指定の件（2件）	産経建設	可決
指定管理者の指定の件	文教厚生	可決
敦賀市公共下水道事業天筒浄化センターの改築工事委託に関する基本協定変更の件	産経建設	可決
敦賀市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	同意
平成23年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	認定
平成23年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	認定
平成23年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	認定

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（平成24年度敦賀市一般会計補正予算（第3号））	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願	文教厚生	不採択
「もんじゅ」の再稼働をやめて廃炉を求める請願	原子力発電所	不採択
妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出の請願	文教厚生	不採択

議会日誌

平成24年9月29日以降の議会活動の紹介です。

2月	1月	12月	11月	10月
25日(月) 議員説明会	30日(水) 議会運営委員会	21日(金) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(閉会)	27日(火) 議会運営委員会	31日(水) 福井県市町議会議員合同研修会
20日(水) 議会説明会	23日(水) 議会運営委員会	18日(火) 予算決算常任委員会	14日(水) 福井県市議会議長会議員研修会	30日(火) 議会運営委員会、本会議(臨時会)
19日(火) 議会説明会	21日(月) 議会運営委員会	17日(月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会	9日(金) 予算決算常任委員会(決算)	25日(木) 議会運営委員会
12日(火) 議会説明会	22日(水) 議会運営委員会	14日(金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会	8日(木) 広報委員会	19日(金) 議会運営委員会、広報委員会
4日(月) 広報委員会	21日(月) 議会運営委員会	13日(木) 本会議(一般質問)、広報委員会	6日(火) 予算決算常任委員会(決算)	1日(月) 議会運営委員会、行政視察(3日まで)
		12日(水) 本会議(一般質問)		
		11日(火) 本会議(一般質問)		
		5日(水) 予算決算常任委員会、議会運営委員会		
		4日(火) 本会議(一般質問)		
		3日(月) 駅周辺整備調査特別委員会		

議会放送のチャンネルが変わります！



これまでケーブルテレビ(RCN)で放送していた本会議中継・再放送が、2月1日からは地上デジタル放送で放送されることになりました。チャンネルは以下のとおり変更になります。

CATV 205ch (ケーブルテレビ)



新 地上 093ch (地上デジタル放送)

※3月31日以降はCATV 205chは視聴できなくなりますのでご注意ください。

3月定例会の日程(予定)

議会を傍聴される方は、当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

2月27日(水) 本会議 議案の説明・質疑

28日(木) 委員会 予算決算常任委員会(補正基本質疑)

委員会 予算決算常任委員会分科会(補正審査)

3月4日(月) 委員会 予算決算常任委員会(補正採決・当初総括質疑)

5日(火) 委員会 予算決算常任委員会(当初基本質疑)

11日(月) 本会議 委員長報告・討議及び採決(補正)

本会議 代表質問・一般質問

12日(火) 本会議 代表質問・一般質問

13日(水) 本会議 一般質問

14日(木) 委員会 常任委員会

15日(金) 委員会 予算決算常任委員会分科会(当初審査)

18日(月) 委員会 原子力発電所特別委員会

22日(金) 本会議 委員長報告・討議及び採決(当初)

本会議は、午前10時から

テレビ中継とインターネット中継を予定しています。

編集後記



敦賀市議会では、市民から信頼され身近で開かれた議会を目指し、さまざまな取り組みを行っております。

本会議の傍聴やテレビ中継、再放送、また、インターネット中継や録画映像配信、議会だよりの発行など、あらゆる方法で情報を発信しています。

昨年11月には、市内8カ所で議会報告会を開催し、そこでいただいたご意見やご要望、アンケート結果を参考にしながら、今後も議会改革を着実に進めていきたいと考えています。市民の皆様からのご意見など、ぜひお寄せください。

広報委員会

- 委員長 福谷 正人
- 副委員長 北村 伸治
- 委員 別所 治
- 委員 今大地 晴美
- 委員 山本 貴美子
- 委員 山崎 法子

発行：敦賀市議会
住所：敦賀市中央町

2丁目1番1号

電話：22-8157

Eメール：gikat@ton21.ne.jp